

### 「学ぶ土台づくり」推進計画

#### 目標1 親子間の愛着形成

- ◆子どもと触れ合う時間  
平日に子どもと触れ合う時間が1時間以内と回答した割合・・・父親48.6% 母親30.7%
- ◆触れ合う内容  
第1位 一緒に話をする  
第2位 テレビやビデオを見る  
第3位 お絵かき, おもちゃ遊び  
第4位 読み聞かせ  
第5位 散歩や外遊び

#### 目標2 基本的な生活習慣

- ◆就寝する時刻  
午後9時以降に就寝すると回答した割合・・・59.5%
- ◆朝食の摂取  
毎日, 朝食を食べていると回答した割合・・・96.2%
- ◆バランスのよい朝食  
主食・主菜・副菜をバランスよく摂取していると回答した割合・・・42.4%

#### 目標3 豊かな体験活動

- ◆外で遊ぶ機会  
幼児が遊ぶ場所について, 「室外」又は「どちらかといえば室外」と回答した割合・・・19.4%
- ◆体験活動の頻度  
キャンプ, ハイキング等の自然体験活動を何度もしていると回答した割合・・・26.5%
- ◆食事の配膳・片付けや掃除等の家事・手伝いをいつもしていると回答した割合・・・27.8%

※「平成24年度幼児教育に関わる実態調査」(平成24年度から実施)(県教育庁)による

親になる前の世代の高校生を対象に将来親になった時に親としてどのように成長していくか意識啓発を図る。

未就学児を持つ親を対象に規則正しい生活習慣や親子のふれあいの大切さを普及啓発する。

- 「親になるための教育」  
高校生を対象に講話, 保育体験, 母親学級への参加等を実施  
H24年度: 19校実施  
H25年度: 29校実施

- 副教材(DVD)の制作・配布  
「学ぼう, 深めよう, 親子の愛着! 『明日のために』」を制作し, 県内全高校に配布  
H24年度: DVD 300枚制作

- パンフレットの作成・配布  
「川島隆太教授と考えるうちの子の未来学」を作成し, 県内全ての保育所, 幼稚園等の保護者に配布  
H24年度: パンフレット 22万部作成

- 協働教育推進総合事業(生涯学習課)  
協働教育プラットフォーム事業(親の学び塾, 自然体験, 親子交流活動), 子育てサポーター養成講座, 「親の学びのプログラム」の作成

- 子育て支援を進める県民運動(子育て支援課)  
みやぎっこ応援隊の活動推進

#### 目標4 幼児教育の環境づくり

##### 普及啓発推進体制の構築

幼・保・小, 家庭, 地域, NPO等幼児教育に関する団体の代表者が参集し, 幼児期をめぐる課題の共有化と各主体の連携の糸口を探り, 今できること等を検討する。

- 「学ぶ土台づくり」推進連絡会議(座長: 川島隆太教授)  
H24年度: 2回開催  
H25年度: 2回開催

- 「学ぶ土台づくり」圏域別ワークショップ  
H24年度: 3圏域で開催  
H25年度: 全圏域で開催

- 「学ぶ土台づくり」市町村支援事業  
「学ぶ土台づくり」の普及啓発を独自に行う市町村を支援する。  
H25年度: 3市町

- 幼・保・小連携推進事業(義務教育課)  
推進地区(栗原市・石巻市)を指定し, 幼・保・小連携体制を構築

- 発達障害早期支援事業(特別支援教育室)  
特別な支援を必要とする子どもの早期発見・早期支援のシステム作りを推進

- 協働教育推進総合事業(再掲)(生涯学習課)

### ルルブル県民運動

- みやぎっずルルブル推進会議総会  
行政, 地域, 企業等が連携・協力し, 子どもの基本的な生活習慣の確立を図る。  
H24年度: 1回開催  
H25年度: 1回開催

家庭はもとより学校や地域, 企業, NPO等が連携・協力し, 子どもに「しっかり寝ル・きちんと食ル・よく遊ブで健やかに伸びル(ルルブル)」の定着促進を図る。

- ルルブルフォーラムの開催  
ルルブルの必要性を保護者や一般県民に広く理解いただくため夢メッセみやぎでフォーラムを開催  
H24年度: 1回開催  
※東北大学 川島隆太教授による講演会・松岡修造氏との対談

- 優良活動団体表彰  
睡眠, 食習慣, 遊び・運動といった子どもの基本的な生活習慣の確立に向けた活動の推進と普及啓発を図るため, 顕著な取組を行っている団体(幼稚園, 保育所, 小・中学校, 企業, NPO等)を表彰  
H24年度: 12団体表彰  
H25年度: 16団体表彰

- 新聞意見広告の掲載  
基本的な生活習慣の促進や幼児期における教育の重要性を広く県民に訴求するため, 知事と著名人による対談やインタビューを新聞に掲載  
H24年度: 東北大学 川島隆太教授  
H25年度: ①東北楽天 嶋基宏選手  
②東北大学 川島隆太教授  
※企業等に向けてルルブルの重要性を発信

- 企業等と連携した普及啓発  
子どもの生活習慣は保護者から受ける影響が大きいため, 企業等やその従業員が主体的にルルブルに取り組みようとする意欲を喚起  
H25年度:  
①ルルブル登録会員の新規開拓  
※82団体→100団体(目標)  
②沿岸被災地(石巻市)における「子どもサッカー教室」の開催

- 飛び出す紙芝居「アーリー博士とレイト怪人」の上演  
親子でハラハラドキドキしながら奇想天外な冒険活劇を観ることで早寝早起き朝ごはんの大切さを学ぶことができます。紙芝居のお話が終わったかと思ったら!?なんと, 紙芝居のキャラクターが飛び出し, 物語が繰り広げられていく飛び出す紙芝居を幼稚園, 保育所, 小学校, 児童館等で上演  
H24年度: 20回上演 H25年度: 40回上演



##### 子どもへのアプローチ

発達段階に応じて子どもたちが基本的な生活習慣の重要性や必要性について理解し, 規則正しいリズムで生活することができるよう意識啓発を図る。

- ルルブルパンフレットの作成・配布  
中学生にルルブルの重要性を普及する「明日のキミはキミがつくる」を作成し, 県内の全ての中学校に配布  
H24年度: パンフレット 8.5万部作成  
※幼児・小学校低学年向け及び小学校中・高学年向けのパンフレットは平成23年度に作成・配布

- ルルブル啓発DVD「ルルブルでみんな元気!」の制作  
ルルブルの大切さをわかりやすく表現し, また, オリジナルの「レッツ ルルブルダンス♪」も収録した副教材(DVD)を制作し, 県内の全ての幼稚園, 保育所, 小学校等に配布  
H25年度: DVD 3,000枚制作  
※「レッツ ルルブルダンス♪」には, 「むすび丸」のほか県内プロスポーツチームのマスコットキャラクターが集合し, 楽しくダンスを踊ります。

